

令和 8 年度
事業概要

(令和 7 年度実績)

令和 8 (2026) 年
栃木県障害者総合相談所

目 次

第1 栃木県障害者総合相談所の概要

1 概要	1
2 組織及び職員配置	1
3 事業の概要	2
4 業務の内容と主な実績	3
(1) 身体障害福祉関係（身体障害者更生相談所関係業務）	3
(2) 知的障害福祉関係（知的障害者更生相談所関係業務）	4
(3) 発達障害者支援センター（ふぉーゆー）関係業務	6
(4) 高次脳機能障害支援拠点機関関係業務	6
(5) 障害福祉サービス従事者等の研修関係業務	7
(6) 地域支援業務	8

第2 資料編

(1) 身体障害者更生相談所関係	9
①判定業務	9
②相談業務	9
③-1 身体障害者手帳交付処理件数	10
③-2 身体障害者手帳所持者数一覧	10
③-3 県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会における審議	11
(2) 知的障害者更生相談所関係	12
①相談・判定業務（総計）	12
②-1 療育手帳の年度別処理状況	13
②-2 療育手帳交付状況	13
②-3 知的障害に係る判定結果の情報提供	13
(3) 発達障害者支援センター（ふぉーゆー）関係	14
①相談支援関係	14
②発達支援関係	14
③就労支援関係	16
④普及啓発関係	17
⑤研修関係	18
⑥関係機関との連携	24
(4) 高次脳機能障害支援拠点機関関係	25
①相談支援関係	25
②地域支援関係	25

③啓発・研修関係	25
④連携構築関係	30
(5) 障害福祉サービス従事者等の研修関係業務	31
①障害支援区分認定調査員・審査委員会研修	31
②相談支援従事者研修	31
③強度行動障害支援者養成研修	33
④医療的ケア児等支援者養成研修	34
⑤障害者相談支援関係業務	35
(6) 地域支援業務	36
①研修会等の開催状況	36
第3 沿革	37

第 1 栃木県障害者総合相談所の概要

1 概要

障害者総合相談所は、平成 30（2018）4 月に「とちぎリハビリテーションセンター」が地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンターに移行したことに伴い、当該センターの相談支援部が独立した県の機関となり設置されました。

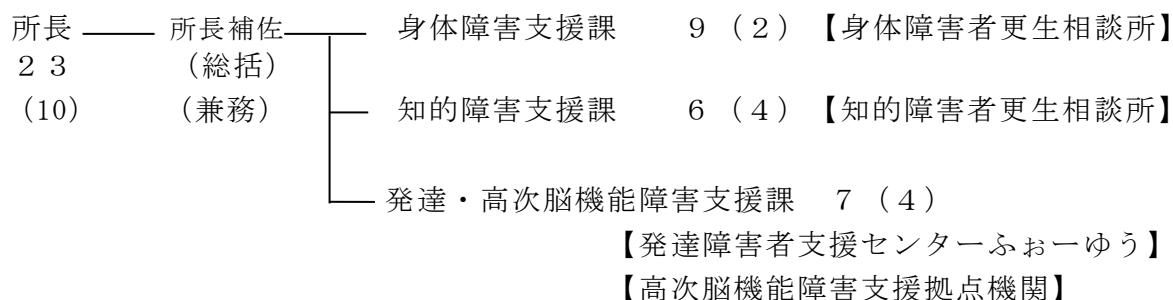
本県では、令和 6（2024）年 3 月に障害者基本法に基づき、「とちぎ障害者プラン 21（2024～2028）」を策定しました。本計画は、「とちぎ未来創造プラン」の部門計画であるとともに、障害者総合支援法に基づく「栃木県障害福祉計画」、児童福祉法に基づく「栃木県障害児福祉計画」、社会福祉法に基づく「栃木県地域福祉支援計画」、栃木県ケアラー支援条例に基づく「栃木県ケアラー支援推進計画」等と調和の保たれた計画となっています。

「とちぎ障害者プラン 21（2024～2028）」では、「障害者の自立と社会参加」及び「共生社会の実現」を基本目標とし、障害者一人ひとりが、自らの意思によって社会参加し、県民一人ひとりが障害や障害者、障害者の家族への理解を深め、障害の有無にかかわらず、県民誰もが相互に協力し、共に支え合う社会の実現を目指し、各種取組を進めているところです。

障害者総合相談所では、これらを踏まえ、身体障害者福祉法に基づく身体障害者更生相談所、知的障害者福祉法に基づく知的障害者更生相談所及び発達障害者支援法に基づく発達障害者支援センター並びに高次脳機能障害支援拠点機関の機能を一体的に運用することにより、自立した生活や就労への支援など、障害者やその家族の多様なニーズにより沿った支援を行うとともに、同一建物内の栃木県立リハビリテーションセンターや市町、関係機関等と緊密に連携することにより、より効果の高い事業実施に取り組んでいます。

2 組織及び職員配置

(1) 組織図（令和 8（2026）年 4 月 1 日現在）



※数字は正職員数、（ ）内は会計年度任用職員数

(2) 職員配置状況（令和 8 (2026) 年 4 月 1 日現在）

職名 \ 職種	総数	行政	保健師	理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	心理	看護師
所長	1	1						
所長補佐（総括）兼課長	1	1						
所長補佐（総括）	1	1						
課長	2	1					1	
副主幹	3	1					2	
係長	2			1	1			
主査	6	2			1		2	1
主任	3			2		1		
技師	2		1				1	
主事	2	2						
正職員 計	23	9	1	3	2	1	6	1
障害者手帳交付事務員	1							
心理判定員	4							
発達障害就労支援員	1							
発達障害療育支援員	1							
業務支援員	1							
事務補助員	2							
会計年度職員 計	10	0	0	0	0	0	0	0
合 計	33	9	1	3	2	1	6	1

3 事業の概要

- (1) 身体障害者更生相談所及び知的障害者更生相談所として、医療、福祉、教育、就労等の関係機関と連携し、総合的な相談、判定、評価等を行うほか、巡回相談や専門職員派遣等による市町、障害者支援施設・障害福祉サービス事業所（以下「施設・事業所」という。）等の支援、各種研修会の開催、情報提供などを行います。また、身体障害者手帳及び知的障害者に対する療育手帳の交付、自立支援医療（更生医療）や補装具の要否判定などを行うほか、身体障害者福祉法第 15 条に基づく医師や障害者総合支援法に基づく指定自立支援医療機関（育成医療・更生医療）の指定を行います。
- (2) 発達障害者支援センターとして、発達障害に関する相談に応じるとともに、発達障害者がライフステージを通じた切れ目ない支援を受けられるよう、関係機関と連携した支援体制の構築を推進します。また、発達障害の理解を促進するための普及啓発事業、家族会等と連携した家族等ケアラーへの支援、支援者に対する研修・専門家の派遣事業等を通して地域の人材育成を図り、身近な地域における相談支援体制の充実に向けて取り組みます。
- (3) 高次脳機能障害支援拠点機関として、高次脳機能障害者に対する専門的な相談支援を実施するとともに、関係機関との支援ネットワークの構築、高次脳機能障害の正しい理解を促進するための普及啓発事業、高次脳機能障害者の支援等に関する研修等を行うなど、相談支援体制の整備を図ります。また、家族会等と連携し、家族等ケアラーへの支援の充実に向けて取り組みます。

- (4) 障害者やその家族が日々の生活の中で抱えているニーズや課題を把握し、専門的支援を行うとともに、必要な障害福祉サービス等に結びつくよう、市町や相談事業者等のネットワークを強化し、地域における相談支援体制づくりを推進します。
- (5) 障害福祉サービス事業の担い手となる人材の育成や専門職としての資質の向上を図るため、相談支援従事者研修を実施するとともに、施設・事業所職員等を対象とする強度行動障害支援者養成研修等を実施するほか、障害者総合支援法に基づく障害支援区分認定調査員等の研修を実施します。

4 業務内容と主な実績

(1) 身体障害福祉関係（身体障害者更生相談所関係業務）

① 判定業務

ア 自立支援医療（更生医療）の判定等

障害者総合支援法に基づく自立支援医療（更生医療）について、市町の依頼に応じて要否の判定を行います。また、指定自立支援医療機関（育成医療、更生医療）の指定を行います。

イ 補装具の判定

補装具費支給制度における市町等の支援機関として、補装具の要否判定・適合判定を行うほか、市町への技術的支援、障害者総合支援法に基づく身体障害児の補装具の構造・機能等に関する技術的助言を行います。

② 相談業務

ア 相談支援

身体障害者福祉法第 11 条に基づき、主に 18 歳以上の身体障害者を対象として、医師、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等が専門的立場から生活全般に関する相談について、助言や指導を行います。

また、県内を巡回して、身体障害者の医療・補装具・リハビリテーション等の相談及び補装具の判定を行う「巡回相談」を実施します。

【令和 8 年度 身体障害者巡回相談実施予定】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
—	小山市	那須塩原市	足利市	栃木市	芳賀町
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
佐野市	下野市	大田原市	小山市	足利市	栃木市

イ 福祉用具・住宅改修相談

障害者の生活環境整備を促進するため、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士等が、関係機関と連携し、入所施設や自宅を訪問して、福祉用具の活用や住宅改修、障害者のリハビリテーション等に関する相談支援を行います。

③ 身体障害者手帳の交付等

身体障害者福祉法第 15 条に基づく身体障害者手帳の新規交付・再交付、各種届等の処理のほか、同法第 15 条指定医の指定を行います。

④ 研修会の開催

身体障害者の支援に係わる施設・事業所、市町等の関係職員を対象として、当所の専門性を活かした研修会を開催し障害者に対する指導支援技術の向上を図ります。

⑤ 令和 7 年度事業実績

ア 自立支援医療（更生医療）の判定 （単位：件）

医療要	医療否	備 考
1,134	4	

イ 補装具の判定 (単位：件)

要 否 判 定				適 合 判 定		備 考
直 接 判 定		書 類 判 定				
支 給 適	支 給 不 適	支 給 適	支 給 不 適	適 合	不 適 合	
28	1	977	1	25	0	

ウ 巡回相談 (単位：件)

実施回数	相 談 内 容			備 考
	身障手帳	補 装 具	そ の 他	
8	3	23	1	

エ 身体障害者手帳交付等の状況 (単位：件)

新規申請	再交付	変 更	返 還	合 計	備考
2,867	1,334	1,008	2,296	7,505	

※件数には宇都宮市交付分を含みません。

オ 身体障害者福祉法第 15 条による指定医の指定数 (単位：件)

前年度までの累計	新規指定件数	辞退件数	令和 7 年度末指定数
2,398	52	9	2,441

カ 指定自立支援医療機関指定件数 (単位：件)

区 分	前年度までの累計	新規指定件数	辞退廃止件数	令和 7 年度末指定数
病院・診療所	127	4	4	127
指定訪問看護事業者等	90	9	3	96
薬 局	512	34	23	523
計	729	47	30	746

※件数には、宇都宮市指定分を含みません。

また、病院の場合、診療科目の一部追加・削除及び主担当医の変更は件数に含みません。

(2) 知的障害福祉関係（知的障害者更生相談所関係業務）

知的障害者福祉法第 12 条の規定に基づき、知的障害者やその家族、行政機関、施設・事業所等からの相談業務を行います。

また、満 18 歳以上の知的障害者に対し、医学的、心理学的及び社会的観点からの判定を行い、当該知的障害者に対して各種の援助が受けやすくなるよう、療育手帳の交付を行うとともに、援助・指導を行います。

なお、上記相談は、当所への来所相談を基本とする個別相談、各市町及び施設・事業所にて実施する巡回相談により実施しています。巡回相談は各市町の庁舎等において実施する「動く知更相」と、施設・事業所において実施する「施設巡回相談」があります。

① 相談・判定業務

ア 個別相談（来所相談）

県内に居住する 18 歳以上の知的障害者及びその保護者を対象として、来所による相談や医学的、心理学的及び社会的観点からの判定並びに必要な助言、援助を実施します。

医学的判定は、原則毎月第 1 ～ 4 週の水曜日に行います。

※特別な事情（病院入院中等）により当所に来所できない方に対しては、出張

して判定等を行います。

イ 巡回相談

(ア) 動く知更相

遠隔地等のため、来所が困難な在宅の知的障害者及びその家族に対し、心理判定員やケースワーカーが各地域に出向いて判定、相談と併せて必要な助言を行います。

【令和8年度「動く知更相」実施予定】

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月
—	那須塩原市 足利市	栃木市 小山市 真岡市	佐野市 大田原市 那珂川町	下野市 足利市	栃木市 日光市 那須塩原市 さくら市
10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
小山市 大田原市 真岡市	矢板市 足利市 栃木市	鹿沼市 那須塩原市	大田原市 那須烏山市 真岡市	小山市 佐野市	足利市 栃木市 那須塩原市

(イ) 施設巡回相談

県内の施設・事業所等を利用している知的障害者に対して、巡回して心理学的及び社会的観点からの判定等を行うとともに、保護者、施設・事業所職員等からの生活支援等の相談に応じ、施設・事業所と協力しながら利用者の支援を行います。

② 療育手帳の交付等

18歳以上の知的障害者又は保護者からの申請に基づき、医学的、心理学的及び社会的観点からの判定等を行い、障害福祉サービスなど各種の支援を受けやすくするため療育手帳を交付するとともに、必要に応じて再判定等を行います。

また、必要に応じ、知的障害に係る判定結果について、当事者の支援に資する目的で市町等に情報提供を行います。

※ 18歳未満の者については、判定等は中央・県南・県北の各児童相談所が、療育手帳の作成交付事務は当所が、それぞれ行います。

③ 市町等に対する専門的な技術的援助及び指導等

援護を実施する市町等に対して、専門的な技術的援助及び助言、情報提供等を行います。

④ 令和7年度事業実績

ア 相談・判定業務の実績

(単位：件)

医学判定		心 理 判 定				相談のみ	備 考
新規判定	特児診断		新規判定	再判定	その他の判定		
83	51	841	115	719	7	168	

イ 療育手帳交付等の状況

(単位：件)

交付等総数	区 分					備 考
	新規交付	程度確認	再交付	記載事項変更	手帳返還	
4,501	636	2,566	396	784	119	

(3) 発達障害者支援センター（ふぉーゆう）関係業務

発達障害者支援法に基づき、自閉症、アスペルガー症候群、その他の広汎性発達障害、学習障害（LD）、注意欠陥・多動性障害（ADHD）等の発達障害に関する様々な問題について、発達障害者やその家族等からの相談に応じ指導、助言を行います。

また、地域の医療、保健、福祉、教育、労働等の関係機関と連携し、乳幼児期から成人期に至るまでのライフステージを通じた切れ目のない支援体制を構築していきます。

① 相談支援

本人や家族、支援者からの様々な相談（家庭のこと、学校のこと、行動のこと、コミュニケーションのことなど）に応じて、それぞれの課題解決に向けたサポート、支援機関への紹介などを行います。

② 発達支援

家庭や関係機関における本人との関わり方について、それぞれのニーズや発達の状況、ライフステージに応じた対応と一緒に考えていきます。また、家族や各地域の関係機関等を対象に具体的な支援について学ぶ研修会を実施します。

③ 就労支援

「働きたい」「働いているけれどもうまく仕事が出来ない」等の就労についての相談に応じるほか、関係機関と協力しながら、働くための準備や就労に関する情報提供などを行います。

④ 普及・啓発

関係機関の支援者や一般県民等、より多くの方々に発達障害についての理解を深めていただけるよう、セミナーの開催やリーフレットの作成、ピアサポーターの養成・派遣等を行います。

⑤ 令和7年度事業の実績

相談支援

（単位：件）

区 分	電 話	来 所		メー ル	計
相談件数	593	新 規	継 続	2	延 べ
		43	87		725

区 分	件 数	内容及び参加者
機関コンサルテーション	1	事業所等への現地訪問や事例検討会をとおして関係機関へのコンサルテーションを実施 1 人

区 分	回 数	内容及び参加者
発達ピアサポーターの派遣	7	介護者や支援者へ発達障害者家族としての経験談等 延 べ 124 人

(4) 高次脳機能障害支援拠点機関関係業務

高次脳機能障害支援拠点機関として、高次脳機能障害者やその家族に対する相談支援を実施するとともに、セミナーの開催などの普及啓発、関係機関等に対する研修の実施、高次脳機能障害者を支援するための関係機関のネットワーク体制構築に向けた事業を推進します。

① 相談支援

支援コーディネーターを配置し、本人や家族、支援者からの様々な相談に応じて、助言や関係支援機関への紹介などを行います。

また、障害保健福祉圏域ごとに相談支援事業者等との連携を図り、包括的・継続的な支援を実施します。

② 地域支援

相談支援事業者等との高次脳機能障害者の支援に関するケース会議の開催や、地域自立支援協議会、関係機関等との連携により、高次脳機能障害者を支える社会資源の開発等、地域における高次脳機能障害の支援ネットワークを構築します。

③ 啓発・研修

県民を対象にした高次脳機能障害の正しい理解のためセミナーを開催するとともに、より良い支援のために、支援者に対する専門研修や事例検討の実施、ピアサポーターの養成・派遣等に取り組みます。

また、より多くの方々に高次脳障害についての理解を深めていただけるよう、普及啓発リーフレット等の作成・配布を行います。

④ 連携構築

医療・保健・福祉・就労等の関係機関や専門職団体、当事者・家族会等の関係団体との連携を促進します。

⑤ 令和7年度事業実績

相談支援

(単位：件)

区 分	電 話	来 所	メール・書簡	訪問・同行	計
直接相談	113	40	24	20	延べ 427
間接相談	180	31	0	19	

区 分	回 数	内容及び参加者
ケース検討会議	14 回	個別支援会議（コンサルテーションを含む） 延べ 133 名

区 分	回 数	内容及び参加者
高次脳機能障害 ピアサポーター の派遣	11 回	一般県民や支援者へ高次脳機能障害者家族としての経験談等 延べ 307 名

(5) 障害福祉サービス従事者等の研修関係業務

障害福祉サービス従事者や相談支援事業者を対象とした各研修を実施し、サービス等の質の向上を図ります。

① 障害支援区分認定調査員研修及び市町審査会委員研修

市町の障害支援区分認定調査員職員及び市町審査会委員を対象に研修を実施し、障害支援区分認定調査員等の資質向上を図ります。

② 相談支援従事者研修

ア 現任研修

相談支援従事者を対象に研修を実施し、相談支援に従事する者の資質向上を図ります。

イ 主任研修

地域の相談支援体制において、地域の中核的な役割を果たす者(主任相談支援専門員)を養成します。

③ 強度行動障害支援者養成研修

強度行動障害を有する者の支援に従事している障害福祉サービス従事者を対象に研修を実施し、適切な障害特性の評価及び支援計画の作成ができ、チーム支援の中核となる支援者を養成します。

④ 医療的ケア児等支援者養成研修

医療的ケア児等が地域で安心して暮らしていけるよう、医療的ケア児等に対する支援が適切に行える人材を養成します。

⑤ 障害者相談支援関係業務

障害者やその家族にとって社会資源サービスを利用しやすく、また、効果的・効率的な相談支援の推進が図れるよう、県障害福祉課、各健康福祉センター等と連携し事業を実施します。

また、各市町で行う相談支援業務が円滑に進められるよう、各圏域で開催している相談支援事業所連絡会等に参加するとともに関係機関と連携しながら専門機関として支援します。

(6) 地域支援業務

市町等対象の研修開催や関係機関等への講師派遣、障害者やその家族等への専門的な助言・支援、地域における障害者支援等事業への指導・支援等を幅広く行います。

① 研修等

市町、関係団体等の職員を対象として、制度や実務に関する研修を開催します。

また、依頼に応じて、関係機関・関係団体等が開催する研修等に講師を派遣します。

② 地域支援

保健師・理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・心理職等の専門職が、障害者やその家族等からの相談に対し、助言・支援等を行います。

また、地域において実施される障害者支援等に関する事業に対して、専門職が技術的な指導・支援を行います。

③ 情報収集・提供

障害者支援に関する情報の収集と、幅広い情報提供を行います。

④ 調査・研究

関係機関等と連携を図りながら、各種調査研究、ケース研究等を実施します。

(1) 身体障害者更生相談所関係

① 判定業務

ア 自立支援医療（更生医療（書類判定））

(単位:件)

区分 年度	医 療 要	医 療 否	備 考
R 5	1,098	7	
R 6	1,113	3	
R 7	1,134	4	

イ 補装具

【要否判定】

(単位:件)

区分 年度	直接判定		書類判定		備 考
	支給適	支給不適	支給適	支給不適	
R 5	33	0	1,061	0	
R 6	33	0	994	2	
R 7	28	1	977	1	

【適合判定】

(単位:件)

区分 年度	適 合	不 適 合	備 考
R 5	11	0	
R 6	22	1	
R 7	25	0	

【種目別 判定件数（直接・書類合計）】

(単位:件)

種目 年度	意思伝達装置	義肢	姿勢保持装置	車椅子	装具	電動車椅子	補聴器	その他	総計
R 5	8	86	53	160	227	17	542	1	1,094
R 6	12	90	36	143	199	20	546	6	1,052
R 7	6	75	32	120	196	25	578	0	1,032

【補装具判定会議】

(単位:回)

区分 年度	開催回数	検討件数	報告件数	備考
R 5	7	6	7	
R 6	1	1	1	
R 7	4	4	0	

② 相談業務

ア 補装具・福祉用具電話相談（市町障害福祉担当課・医療機関・一般など）

(単位:件)

区分 年度	意思伝達装置	義肢	姿勢保持装置	車椅子	装具	電動車椅子	補聴器	日常生活用具	事務手続き	その他	合計
R5	30	132	61	195	128	105	157	36	68	132	1,044
R6	25	105	59	198	113	73	135	20	84	148	960
R7	37	71	80	183	75	68	106	20	57	92	789

イ 巡回相談

区分 年度	実施回数 (回)	相談者数 (人)	相談内容 (件)			備 考
			身障手帳	補装具	その他	
R 5	6	13	0	9	4	
R 6	7	20	3	18	0	
R 7	8	27	3	23	1	

(単位:件)

ウ 福祉用具・住宅改修相談事業実施要綱に基づく件数

区分 年度	相談 実件数	対応方法（延件数）					相 談 内 容（延件数）			
		合計	内 訳				合計	内 訳		
			電話	訪問	来所	その他		福祉用具に 関すること	住宅改修に 関すること	生活に 関すること
R 5	7	19	0	7	0	1	10	5	1	4
R 6	2	2	0	2	0	0	2	1	0	1
R 7	9	9	0	9	0	0	11	9	1	1

エ その他電話相談

（単位：件）

年度	区分	更生医療	身障手帳
R 7		32	207

③－１ 身体障害者手帳交付処理件数

（単位：件）

区分 年度	新規	再 交 付				変 更							返 還			計
	新規 申請	程 度 変 更	破 損	紛 失	そ の 他 再 交 付	住 所 変 更 （ 管 内 ）	転 入 （ 県 内 管 外 ）	県 外 よ り 転 入	県 外 転 出	他 県 よ り 通 知	氏 名 変 更	そ の 他 変 更	治 ゆ 返 還	死 亡 返 還	そ の 他 返 還	
R 5	2,854	963	148	208	63	460	105	204	10	135	26	56	24	3,300	6	8,562
R 6	2,781	995	104	222	67	438	110	213	17	130	16	90	15	3,271	3	8,472
R 7	2,867	953	108	215	58	453	94	204	15	137	19	86	19	2,272	5	7,505

※宇都宮市交付分を含まない。

③－２ 身体障害者手帳所持者数一覧(宇都宮市を含む)

各年度4月1日現在(単位：人)

年 度		30	元	2	3	4	5	6	7	8
身 体 障 害 者 数 (手帳所持者数)		70,236	70,505	70,887	70,738	70,645	70,179	69,423	68,636	69,171
障 害 別 内 訳	視 覚	4,268	4,232	4,220	4,237	4,295	4,280	4,281	4,330	4,418
	聴 覚	8,064	7,966	7,919	7,836	7,710	7,682	7,462	7,566	7,660
	音 声	681	680	690	711	781	676	698	700	722
	肢 体	33,446	32,918	32,415	31,997	31,479	30,903	29,765	28,968	29,012
	内 部	20,492	21,126	21,743	22,330	22,535	22,743	23,406	23,646	23,973
	複 合	3,285	3,583	3,900	3,627	3,845	3,895	3,811	3,426	3,386
程 度 別 内 訳	1 級	22,666	22,909	23,236	23,509	23,675	23,496	23,444	23,105	23,332
	2 級	11,043	10,998	11,012	10,857	10,671	10,590	10,384	10,313	10,339
	3 級	9,503	9,579	9,600	9,505	9,480	9,412	9,272	9,216	9,287
	4 級	17,422	17,440	17,517	17,430	17,519	17,471	17,257	17,027	17,234
	5 級	4,524	4,488	4,434	4,382	4,322	4,262	4,201	4,152	4,111
	6 級	5,078	5,091	5,088	5,055	4,978	4,948	4,865	4,823	4,868
年 齢 別 内 訳	18歳未満	1,201	1,182	1,133	1,115	1,078	1,032	1,006	1,004	976
	18～64歳	18,850	18,640	18,318	18,073	17,869	17,378	17,212	16,664	16,934
	65歳以上	50,185	50,683	51,436	51,550	51,698	51,769	51,205	50,968	51,261

③－３ 県社会福祉審議会身体障害者福祉専門分科会審査部会における審議
(単位：件)

年度	開催回数 (回)	内 容	諮 問 結 果			
			認定	却下	保留	計
R 5	4	医師の指定について	81	0		81
		身体障害の認定について	50	2	3	55
R 6	4	医師の指定について	41	0		41
		身体障害の認定について	56	1	1	58
R 7	4	医師の指定について	39	0		39
		身体障害の認定について	52	1	1	54

(2) 知的障害者更生相談所関係

① 相談・判定業務（総計）

（単位：件）

区分 年度	医学判定		心 理 判 定				相談 のみ	備 考
	新規 判定	特児 診断		新規 判定	再判定	その他 の判定		
R 5	84	71	883	118	753	12	93	
R 6	92	67	908	127	781	0	181	
R 7	83	51	841	115	719	7	168	

ア 個別相談（来所相談・出張判定・書類判定）

（単位：件）

区分 年度		心 理 判 定				相談 のみ	備 考
			新規 判定	再判定	その他 の判定		
R 5	来所	571	84	475	12	71	
	出張	2	1	1	0	0	病院・家庭訪問による判定、ケース会議等への参加
	書類	31	29	2	0	0	他都道府県からの転入
R 6	来所	522	89	433	0	111	
	出張	5	0	5	0	0	病院・家庭訪問による判定、ケース会議等への参加
	書類	38	34	4	0	0	他都道府県からの転入
R 7	来所	555	78	470	7	164	
	出張	0	0	0	0	0	病院・家庭訪問による判定、ケース会議等への参加
	書類	51	37	14	0	0	他都道府県からの転入

イ 巡回相談

(ア) 動く知更相

（単位：件）

区分 年度	実施 回数 (回)	心 理 判 定				相談 のみ	従 事 者 数 (人)			備考
			新規判定	再判定	その他 の判定			心理 判定員	CW(保 健師等)	
R 5	29	222	4	218	0	14	75	75	0	
R 6	30	305	4	301	0	3	101	101	0	
R 7	32	171	0	171	0	2	67	66	1	

(イ) 施設巡回相談

（単位：件）

区分 年度	実施 回数 (回)	心 理 判 定			相談 のみ	従 事 者 数 (人)						備考
		再判定	その他 の判定	心理 判定員		理 学 療法士	作 業 療法士	言 語 聴覚士	CW(保 健師等)			
R 5	18	57	57	0	8	31	30	1	0	0	0	
R 6	21	38	38	0	21	33	32	1	0	0	0	
R 7	21	64	64	0	2	36	36	0	0	0	0	

②－１ 療育手帳の年度別処理状況

(単位：件)

年度	区分	交付等総数					備 考
		新規交付	程度確認	再交付	記載事項変更	手帳返還	
R 5		4,905	729	2,559	399	860	358
R 6		4,771	767	2,520	439	903	142
R 7		4,501	636	2,566	396	784	119

②－２ 療育手帳交付状況

ア 療育手帳新規交付者数（年齢別状況）

(単位：人)

年度	区分	0～5歳	6～14歳	15～17歳	18～19歳	20～39歳	40～64歳	65歳以上	合 計
R5		156	377	74	17	55	50	0	729
R6		171	394	78	12	56	53	3	767
R7		102	341	67	17	65	44	0	636

※数字は各児童相談所の判定分を含む新規手帳交付数

イ 療育手帳の障害程度別者総数

(単位：人)

基準日	区分	重 度				中 軽 度				合 計
		A1	A2	A	小計	B1	B2	B	小計	
R6.4.1現在		2,674	4,480	67	7,221	5,854	6,868	35	12,757	19,978
R7.4.1現在		2,737	4,508	65	7,310	5,997	7,261	35	13,293	20,603
R8.4.1現在		2,797	4,570	63	7,430	6,063	7,592	35	13,690	21,120

②－３ 知的障害に係る判定結果の情報提供

(単位：件)

年度	情報提供理由	求職・就職 のための 情報提供等	手当の 資料等	その他照会	合 計
R 5		27	36	46	109
R 6		20	44	39	103
R 7		9	50	57	116

(3) 発達障害者支援センター（ふぉーゆー）関係

① 相談支援関係

ア 相談業務

来所相談	項目 \ 年度	R 5	R 6	R 7
	新規（実件数）	54	57	43
	継続（延べ件数）	80	113	87
	計（延べ件数）	134	170	130
電話相談	計（延べ件数）	684	573	593
メール相談	計（延べ件数）	0	0	2

イ 機関コンサルテーション

現地訪問や事例検討をとおして関係機関へのコンサルテーションを実施

項目 \ 年度	R 5	R 6	R 7
機関数	4	6	1
延べ件数	4	10	1

② 発達支援関係

ア 個別支援

	R 5	R 6	R 7
本人や家族を含めて関係機関と調整会議（個別支援会議）を開催	1	4	0
適切な支援機関につなげるための同行支援を実施	0	0	4
本人の特性理解に向けて心理検査を実施	2	0	0
その他の個別支援会議等	3	0	0

イ 青年期発達障害者グループ活動

概ね18～30歳の発達障害者を対象に、活動の機会を提供し、コミュニケーションスキルや社会性の向上と精神の安定を図ることを目的として実施

年度	開催日	テ ー マ	場 所	参加者延数 (実人数)
R 5	5. 5. 17 5. 9. 20 5. 11. 15 6. 1. 17	①自分の好きなことや苦手なことを話してみよう ②オンラインにチャレンジ ③DIYにチャレンジ ④軽スポーツで爽やかな気分を味わおう ⑤「書き初め」で好きな言葉を書こう ※②は参加者無しのため中止	障害者総合相談所 打合せ室	7 (5)
R 6	6. 5. 29 6. 7. 17 6. 9. 18 6. 11. 20 7. 1. 22 7. 3. 12	①色々なコミュニケーション方法で自分のことをつたえよう ②作業をとおしてコミュニケーションをとろう ③役割を経験しよう・体を動かしてコミュニケーションをとろう ④季節を感じよう・自分の作品をみてもらおう ⑤「書き初め」で好きな言葉を書こう ⑥一年間を振り返って感じたことをつたえよう	障害者総合相談所 打合せ室	13 (4)
R 7	7. 5. 28 7. 7. 16 7. 9. 24 7. 11. 12 8. 1. 14 8. 3. 11	①一人じゃできないことをしよう！ ②協力プレイ！謎解きゲームをしよう。 ③とっってもゆるい、うんどうかい。 ④季節を感じよう/みんなの大ピンチ！レベルいくつ？ ⑤筆で好きなセリフをかいてみよう！ ⑥自分のポスター作ってもらおう！	障害者総合相談所 打合せ室他	23 (7)

ウ ペアレント・プログラム

発達障害のある未就学児・小学校低学年児の保護者を対象に、子どもの行動を客観的に捉えて子育てが楽しくなるための全6回のプログラムを発達障害者地域支援マネージャーが実施（R5年度まで共催）

年度	開催日	演 題	講師及び主催者	場 所	参加者延数 (実人数)
R 5	5.10.10 5.10.24 5.11.7 5.11.21 5.12.12 5.12.19	①現状把握表を書く！ ②行動で書く！ ③同じカテゴリーをみつける！ ④ギリギリセーフをみつける！ ⑤ギリギリセーフをきわめる！ ⑥ペアプロでみつけたことを確認する！	こども発達支援センター びーち 小西 真美 氏 共催：発達障害者地域支援 マネージャー	西那須野教会	45 (10)
R 6	発達障害者地域支援マネージャーの単独開催				
R 7	発達障害者地域支援マネージャーの単独開催				

エ 家族教室

発達障害の理解を深め、家族としての関わり方を振り返ることを目的に、思春期以降の発達障害児者の家族を対象に実施

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 5	5.9.5	講話「発達障害の理解と家族の対応」	柳川小児科医院副院長 こだわりっこの会代表 柳川 悦子 氏	河内庁舎	21
	5.10.18	①栃木県自閉症協会案内 ②当事者及び家族による経験談	自閉症協会会員 総評：柳川小児科医院副院長 こだわりっこの会代表 柳川 悦子 氏	とちぎ健康の森 小会議室	28
R 6	6.10.8	講話「発達障害の理解と家族の対応」	柳川小児科医院副院長 こだわりっこの会代表 柳川 悦子 氏	とちぎ福祉プラザ 3階福祉研修室A・B	31
	6.12.3	グループ別交流会 「経験談～家族の立場から～」	発達障害ピアサポーター 相澤 敦子 氏・井端 由子 氏 栃木県自閉症協会 宮下 陽子 氏・藍原 賀代子 氏	栃木県立リハビリ テーションセンター 3階大会議室	11
R 7	7.9.5	①講話「発達障害の理解と家族の対応」 ②講話「当事者による経験談」	①柳川小児科医院副院長 こだわりっこの会代表 柳川 悦子 氏 ②栃木県障害者ピアサポーター 木村 孝子 氏	栃木県総合教育 センター学習室A・B	20
	7.11.5	①講話「経験談～家族の立場から～」 ②グループ別交流会	①栃木県自閉症協会 宮下 陽子 氏 発達障害ピアサポーター 相澤 敦子 氏 ②発達障害ピアサポーター 井端 由子 氏 発達障害ピアサポーター 相澤 敦子 氏 栃木県自閉症協会 宮下 陽子 氏 栃木県自閉症協会 吉永 久美子 氏	栃木県立リハビリ テーションセンター 3階大会議室	13

③ 就労支援関係

ア 個別支援

	R 5	R 6	R 7
本人や家族を含めて関係機関と調整会議（個別支援会議）を開催	3	2	8
適切な支援機関につなげるための同行支援を実施	1	1	3
その他の個別支援会議等	0	0	0

イ 就労準備支援事業（職場体験・就労ガイダンス）

就労する上で必要となる準備性や就労支援機関での取組等について学ぶ機会として、本人を対象とした職場体験や、本人及びその家族を対象とした就労ガイダンスを実施

年度	開催日	内 容	講 師	場 所	受講者数
R 5	5.11.10	講話「障害者職業センター・ハローワークでの支援の実際」	栃木障害者職業センター 上席障害者職業カウンセラー 深山 真子 氏 宇都宮新卒応援ハローワーク 発達障害者雇用トータルサポーター 後藤田 美徳 氏	河内庁舎	12
R 6	7.1.23	講話「障害者職業センター・ハローワーク支援の実際」	栃木障害者職業センター 障害者職業カウンセラー 浮田 あやの 氏 宇都宮新卒応援ハローワーク 発達障害者雇用トータルサポーター 後藤田 美徳 氏	栃木県立リハビリ テーションセンター 3階大会議室	14
R 7	7.12.11	①講話「ハローワークでの支援の実際」 ②講話「成人期の発達障害者を抱える家族の想い」	①宇都宮新卒応援ハローワーク 障害学生等雇用サポーター 後藤田 美徳 氏 ②発達障害ピアサポーター 伏見 依子 氏 龜山 恵美子 氏 矢田 敦子 氏	栃木県立リハビリ テーションセンター 3階大会議室	15

④ 普及啓発関係

ア 普及啓発資料作成・配布

発達障害について理解を深めるため、リーフレット等を作成・配布

年度	内 容
R 5	・各種リーフレット、パンフレット、普及啓発物品、機関誌「ふぉーゆうだより」配布（計4,520部） ・リーフレット「パパ、ママ みてみて!! 別紙」、普及啓発用クリアファイル、機関誌「ふぉーゆうだより」を作成（計2,400部）
R 6	・各種リーフレット・パンフレット、普及啓発物品、機関誌「ふぉーゆうだより」配布（計6,193部） ・リーフレット「パパ、ママ みてみて!! 別紙」、普及啓発用クリアファイル、機関誌「ふぉーゆうだより」を作成（計2,000部）普及啓発用カード作成（計700部）
R 7	・各種リーフレット・パンフレット、普及啓発物品、機関誌「ふぉーゆうだより」配布（計5,557部） ・リーフレット「パパ、ママ みてみて!! 別紙」、普及啓発用クリアファイルを作成（計11,200部）

イ 普及啓発イベント参加等

発達障害について理解を広げるため、関係団体等の各種イベントに参加

年度	内 容
R 5	・「世界自閉症啓発デー i n とちぎ スプリングコンサート2023」参加（R5. 4. 7） ・「栃木県誕生150年記念県民の日イベント」への出展（R5. 6. 10） ・「カルフルとちぎ」イベント参加（R5. 11. 3） ・本町交差点地下横断歩道「県政広報コーナー」での掲示（R5. 12. 1～R5. 12. 8）
R 6	・「世界自閉症啓発デー i n とちぎ」参加（R6. 4. 5） ・「県民の日イベント」への出展（R6. 6. 15） ・「栃木県フェア」イベント参加（R6. 1. 9～13） ・「みんなでつくとちぎ」展示（R6. 3. 21～R7. 4. 4）
R 7	・「世界自閉症啓発デー i n とちぎ」参加（R7. 4. 4） ・「県民の日イベント」への出展（R7. 6. 15） ・「令和7年度発達障害セミナー」展示（R7. 11. 15～R7. 12. 15） ・「栃木県フェア」イベント参加（R8. 1. 8～12）

ウ 発達障害セミナー

一般県民に発達障害についての知識と理解を広げることを目的に講演会

年度	開催日	内 容	講 師	場 所	受講者数
R 5	5. 11. 29 ～ 5. 12. 20	シリーズ 神経発達症（発達障害）を 知ろう（各回10～15分） ①神経発達症（発達障害）って何？ ②自閉スペクトラム症（ASD）とは？ ③注意欠如・多動症（ADHD）とは？ ④限局性学習症（SLD）とは？ ⑤神経発達症（発達障害）の実際と起 こりやすい二次障害 ⑥上手な関わり方	作新学院大学 教授 高浜 浩二 氏	YouTube 動画配信	申込者数790 視聴回数3,739

R 6	① 6.10.15 ～ 6.10.27 ② 7.1.9 ～ 7.1.19	シリーズ 神経発達症（発達障害）を 知ろう（各回10～15分） ①神経発達症（発達障害）って何？ ②自閉スペクトラム症（ASD）とは？ ③注意欠如・多動症（ADHD）とは？ ④限局性学習症（SLD）とは？ ⑤神経発達症（発達障害）の実際と起 こりやすい二次障害 ⑥上手な関わり方	作新学院大学 教授 高浜 浩二 氏	YouTube 動画配信	申込不要 視聴回数3,956
R 7	7.11.11 ～ 7.12.15	講義「子どもの”発達”を支える視点 ～家庭と支援者にできること～」 ①子どもを知る第一歩 ②10歳までに育ちゆく心とからだ ③ライフステージで見る発達課題と生 活課題 ④子どものつまづきに気づく ⑤その子らしさを支える視点 ⑥できた！の連鎖をつくる支援	国際医療福祉大学 保健医療学部 作業療学科 教授 関森 英伸 氏	YouTube 動画配信	申込不要 視聴回数3,470

エ 講師派遣（「とちぎ県政出前講座」を含む）

保健・福祉・教育・労働関係機関等からの要請に応じて職員を派遣し、発達障害の理解及びその適切な支
援方法について講話を実施

年度	R 5	R 6	R 7
回数	10	15	16
受講者数	268	508	444

⑤ 研修関係

ア 発達障害者相談支援サポーター養成研修

市町の相談支援事業所等の相談支援専門員を対象に、発達障害者やその家族等から第一義的な
相談支援に携わる人材の養成研修を実施

年度	開催日	内 容	講 師	場 所	受講者数
R 5		実施なし			
R 6		実施なし			
R 7	7.9.5	①国、県の発達障害者支援施策や取組 について ②発達障害者支援センターふぉーゆー について	①栃木県障害福祉課 ②栃木県障害者総合相談所	栃木県総合教育 センター学習室 A・B	14
		①情報共有・意見交換 ②期待される地域支援と多職種連携に ついて【講義＋演習】	作新学院大学 大学院心理 学研究科 教授 高浜 浩二 氏		14
		発達障害の基本的理解、家族の障害受 容、家族の対応のポイントや留意点	柳川小児科医院 副院長 （こだわりっこの会 代 表）柳川 悦子 氏		13
		当事者の想い、支援者に求めること	栃木県障害者ピアサポ ーター 木村 孝子 氏		13
	7.9.25	インテークの着眼点とアセスメント、 相談支援の留意点 【講義＋演習】	作新学院大学 大学院心理 学研究科 教授 高浜 浩二 氏	栃木県立リハビ リテーションセ ンター 3階大会議室	14
		構造化による支援、行動観察と記録、 アセスメントや対応のポイント			13

年度	開催日	内 容	講 師	場 所	受講者数
R 7	7.10.21	栃木の特別支援教育について	栃木県教育委員会事務局 特別支援教育課 石川 妙子 氏	栃木県立リハビリテーションセンター 3階大会議室	14
		学悠館高校での取組例	栃木県立学悠館高校 進路指導主事 木村 友典 氏		14
		発達障害の併存症とその対応 【事例検討】	川村学園女子大学大学院 名誉教授（駅前メンタルクリニック 精神科医） 渡邊 昭彦 氏		12
	7.11.5	乳幼児の発達、療育支援体制や支援の実際 【講義＋見学】	栃木県立リハビリテーションセンター 施設部通園療育課（こども発達支援センター）通園育成科長 畠山 美知 氏	栃木県立リハビリテーションセンター 3階大会議室	13
		家族の想い、支援者に求めること	栃木県自閉症協会 宮下 陽子 氏 発達障害ピアサポーター 相澤 敦子 氏		12
	7.12.11	ハローワークでの支援の実際（就労の道標、事例紹介等）	宇都宮新卒応援ハローワーク 精神・発達障害者雇用サポーター 後藤田 美穂氏	栃木県立リハビリテーションセンター 3階大会議室	14
		成人期の発達障害者を抱える家族の想い	発達障害ピアサポーター 伏見 依子 氏 菰山 恵美子 氏 矢田 敦子 氏		14
	7.12.25	地域での支援体制構築に向けた意見交換等 【講義＋演習】	作新学院大学大学院 心理学研究科 教授 高浜 浩二 氏	栃木県立リハビリテーションセンター 3階大会議室	14
		発達障害者相談支援サポーターに向けて	栃木県障害者総合相談所		14
	7.9.8 ～7.10.3	障害者就労支援の基礎知識と支援機関の取り組み	栃木県障害者職業センター 主任障害者職業センター 近藤 正規 氏 障害者職業カウンセラー 浮田 あやの 氏	障害者総合相談所公式動画チャンネル(YouTube)による限定動画配信	11
	7.10.10 ～7.10.31	大人の発達障害と二次障害への対応	川村学園女子大学大学院 名誉教授（駅前メンタルクリニック 精神科医） 渡邊 昭彦 氏		12
	7.11.11 ～7.12.14	子どもの“発達”を支える視点 －家庭と支援者にできること－	国際医療福祉大学保健医療部作業療法学科 教授 関森 英伸 氏		12

イ 発達障害者相談支援サポーターフォローアップ研修

養成後における発達障害者相談支援サポーターの対応力のさらなる向上と地域支援体制の強化を目的とした研修を実施

年度	開催日	内 容	講 師	場 所	受講者数
R 5	5.10.3	うつのみや法務少年支援センター見学 研修	宇都宮少年鑑別所 所長 向野 里子 氏	うつのみや 法務少年 支援センター	21
		講義「発達障害の特性がある青少年について」	宇都宮少年鑑別所 鑑別部門（考査）統括専門官 北原 良 氏		21
	5.12.5	講義「ひきこもり支援について～発達障害の特性が見られる方～」 ・グループワーク	子ども若者・ひきこもり総合 相談センター 所長 中野 謙作 氏	栃木県立 リハビリテー ションセンタ ー3階大会議室	20
R 6	6.7.25	学悠館高校の学校紹介・見学 グループワーク	障がい者生活支援センターひ かり 主任相談支援専門員 渡邊 太樹 氏	栃木県立学悠館 高等学校	21
	6.11.19	事例検討会（2件）	川村学園女子大学 名誉教授 駅前メンタルクリニック 精神科医師 渡邊 昭彦 氏	河内庁舎本館1階 101会議室	16
R 7	7.10.21	①講話「栃木の特別支援教育について」 ②講話「学悠館高校での取組例」	①栃木県教育委員会事務局 特別教育支援課 石川 妙子 氏 ②栃木県立学悠館高校 進路指導主事 木村 友典 氏	栃木県立 リハビリテー ションセンタ ー3階大会議室	4
	7.11.5	講話＋見学「乳幼児期の支援」	栃木県立リハビリテーション センター施設部通園療育課 （こども発達支援センター） 通園育成科長 畠山 実知 氏	栃木県立 リハビリテー ションセンタ ー3階大会議室	5
	8.2.17	事例検討会（1件）	川村学園女子大学 名誉教授 駅前メンタルクリニック 精神科医 渡邊 昭彦 氏	栃木県立 リハビリテー ションセンタ ー3階大会議室	6

ウ 発達障害者支援アドバイザー派遣事業

市町や障害福祉サービス事業所等からの要請に応じて発達障害に関する専門的な知識や経験を持ったアドバイザーを派遣し、個別助言や事例検討会議への参加、支援者研修を実施

年度	R 5	R 6	R 7
回数	26	15	19
受講者数	549	207	591

エ 研修型ペアレント・プログラム

発達障害地域支援マネージャー（障害児）が主催し、各圏域でペアレント・プログラムを開催できるよう立ち上げ支援や運営・事業周知等の後方支援を実施

年度	R 5	R 6	R 7
開催時期	10月～12月	5月～R7.3月	発達障害地域支援 マネージャーによ る単独開催
受講者数 （実数）	59 （10）	111 （22）	

オ 発達障害処遇支援研修会

障害福祉サービス等に携わる事業所職員等を対象に、発達障害の特性を踏まえた対応に係る研修を実施
(R5年度は発達障害者地域支援マネージャー主催の圏域スキルアップ研修と合同開催)

年度	開催日	内 容	講師・主催	場 所	受講者数
R 5	5. 9. 25 ～ 5. 10. 16	講話 「きょうだい支援の必要性和支援 の実際」	～SHaring Mind of Siblings～きょうだい会 SHAMS代表 成蹊大学特別研究員 滝島 真優 氏	YouTube動画配信 による開催	申込者数407 視聴回数345 (複数人での同 時視聴あり)
R 6	6. 10. 23	児童発達支援センターシャローム公開 研修「子どもの姿から学ぶ発達支援」	児童発達支援センター シャローム	オンデマンド配 信	154
	6. 11. 27	発達障害児スキルアップ研修会 講話「神経発達障害～特性理解と遊び を中心とした支援～」	こども発達支援センター ぴーち	栃木県庁研修館 講堂	120
	7. 2. 3	発達障害者支援スキルアップ研修 「事業所における発達支援の取組」 「事例検討：愛着や二次障がい予防 の観点から」	こども発達支援センター さのかりん	安足健康福祉 センター 大会議室	32
	7. 2. 10	発達障害者支援スキルアップ研修会 講話「今年度の制度改正により支援者 にもとめられることと、取り組みにつ いて」講話「発達障害と支援の基本の “き”」	こども発達支援センター さのかりん	佐野市役所1階市 民活動スペース	57
R 7	7. 10. 10 ～ 7. 10. 31	講話 「発達障害の併存症とその対応」	川村学園女子大学大学院名 誉教授 駅前メンタルクリニック精 神科医 渡邊 昭彦 氏	YouTube動画配信 による開催	申込者数106 視聴回数358 (複数人での同 時視聴あり)

カ かかりつけ医等発達障害対応力向上研修

かかりつけ医等の医療従事者を対象に、発達障害への対応力向上を目的として、国の研修内容を踏まえ
た研修を実施

年度	開催日	内 容	講 師	場 所	受講者数
R 5	6. 2. 29 ～ 6. 3. 17	講話 「成人期の神経発達症について」	自治医科大学 医学部 精 神医学講座 教授 医学博士 須田 史朗 氏	YouTube動画配信 による開催	申込者数241 視聴回数282
R 6	7. 2. 4 ～ 7. 2. 28	講話「発達障害の理解とかかりつけ医 ができること～発達障害をもつ人を地 域で支える～」	栃木県精神福祉センター 所長 島田 達洋 氏	YouTube動画配信 による開催	申込者数204 視聴回数305
R 7	8. 2. 4 ～ 8. 2. 27	講話「発達障害を持つ子どもたちの生 活課題に向き合う～ゲーム、睡眠、不 登校の現状と支援～」	栃木県立リハビリテーショ ンセンター小児科 科長 柴島 真理 氏	YouTube動画配信 による開催	申込者数386 視聴回数507

キ 発達障害ピアサポーター事業

(7) ピアサポーターの養成・育成

発達障害児者との生活経験を活かし、発達障害児者（疑いを含む）と生活する家族を対象とした相談や情報提供を行うピアサポーターを養成・育成する研修を実施

年度	開催日	内 容	講 師	場 所	受講者数
R 6	6. 9. 3	養成研修（第1回） ①講演「栃木県の施策説明」 ②講演「聴くということ」 ③講演「支援者のメンタルヘルス」	①障害福祉課職員 ②(特非)栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏 ③こども発達支援センター さの かりん 施設長 藤原 雄一 氏	栃木県立リハビリテーションセンター3階 大会議室	9
	6. 10. 8	養成研修（第2回） ①講演「地域資源の活用と連携」 ②講演「大人の発達障害対応の実際～社会適応・自立を目指して～」	①相談支援センターひかり 相談支援専門員 渡邊 太樹 氏 ②柳川小児科医院 副院長 こだわりっこの会 代表 柳川 悦子 氏	とちぎ福祉プラザ3階福祉研修室 A・B	12
	6. 9. 24 ～ 6. 10. 29	養成研修（第3回） ①講演「きょうだい支援の必要性和支援の実際」 ②講演「『ペアレント・プログラム』について」	①成蹊大学 特別研究員 きょうだい会SHAMS 代表 滝島 真優 氏 ②こども発達支援センター びーち 主任保育士 児童発達管理責任者 小西 真美 氏	栃木県障害者総合相談所チャンネル(YouTube)による限定動画配信	12
	7. 3. 17	フォローアップ研修 講話・演習「グループカウンセリングについて」	(特非) 栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏	栃木県立リハビリテーションセンター3階 大会議室	13
R 7	7. 9. 5	養成研修（第1回） ①講演「栃木県の施策説明」 ②講演「大人の発達障害対応の実際～社会適応・自立を目指して～」	①障害者総合相談所職員 ②柳川小児科医院 副院長 こだわりっこの会 代表 柳川 悦子 氏	栃木県総合教育センター学習室 A・B	14
	7. 10. 6	養成研修（第2回） ①講演「聴くということ」 ②講演「地域資源の活用と連携」 ①は高次脳機能障害ピアサポーター養成講座（第2回）と合同開催	①(特非)栃木県カウンセリング協会 理事長 大房 房子 氏 ②相談支援センターひかり 主任相談支援専門員 渡邊 太樹 氏	栃木県立リハビリテーションセンター3階 大会議室	17
	①② 7. 10. 1 ～ 7. 10. 29 ③ 7. 10. 30 ～ 7. 11. 26	養成研修（オンライン） ①講演「支援者のメンタルヘルス」 ②講演「ペアレント・プログラムについて」 ③講演「子どもの発達を支える視点～家庭と支援者にできること～」	①こども発達支援センター さの かりん 施設長 藤原 雄一 氏 ②こども発達支援センター びーち 児童発達管理責任者 小西 真美 氏 ③国際医療福祉大学保健医療部作業療法学科 教授 関森 英伸 氏	栃木県障害者総合相談所チャンネル(YouTube)による限定動画配信	17
	7. 11. 5	フォローアップ研修（第1回） 講話「乳幼児の発達、療育支援体制や支援の実際」 見学 栃木県立リハビリテーションセンター・こども発達支援センター	栃木県立リハビリテーションセンター 施設部通園療育課（こども発達支援センター） 通園育成課長 畠山 美知 氏	栃木県立リハビリテーションセンター3階 大会議室	3
	8. 3. 3	フォローアップ研修（第2回） ①講話・演習「グループカウンセリングについて」 ②情報交換 ①は高次脳機能障害ピアサポーターフォローアップ研修と合同開催	(特非) 栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏	栃木県立リハビリテーションセンター3階 大会議室	14

(イ) ピアサポーターの派遣

発達障害児者（疑いを含む）の家族等を対象としたグループ相談及び支援者等への普及啓発を実施

年度	開催日	派遣先	内容等
R 6	6.12.3 7.2.5 7.2.19 7.3.4 7.3.11 7.3.26	・当所主催家族教室 ・子ども発達支援センタービーチ ・栃木県立リハビリテーションセンター ・児童発達支援センターシャローム	介護者や支援者へ発達障害者家族としての経験談の紹介 計6回（参加者）延べ68名（派遣者）延べ11名
R 7	7.9.12 7.11.5 7.12.11 8.1.28 8.2.17 8.3.4 8.3.11	・当所主催家族教室 ・当所主催就労ガイダンス ・子ども発達支援センタービーチ ・壬生町相談支援センターあるしえん ・児童発達支援センターシャローム	介護者や支援者へ発達障害者家族としての経験談の紹介 計7回（参加者）延べ124名（派遣者）延べ13名

ク 発達障害カンファレンス

処遇困難な相談事例等に対して、各分野で高度な知識や臨床経験を持つ専門家からスーパーバイズを受け、課題解決を図るとともに職員の資質向上を図る。

年度	R 5	R 6	R 7
回数	6	6	6
件数	7	7	10
参加者数	51	66	67

○スーパーバイザー

医療分野：渡邊 昭彦 氏（精神科医）

⑥ 関係機関との連携

ア 発達障害者支援センター連絡協議会

発達障害児・者等に対する効果的な支援を検討するため開催

年度	開催日	内 容	参加者
R 5	5. 8. 3	・令和4(2022)年度栃木県発達障害者支援センター事業実績/あり方検討について ・令和5(2023)年度栃木県発達障害者支援センター事業計画/「ふぉーゆう」だより第26号について ・意見交換・情報提供 ①効果的な普及啓発について ②栃木県における発達障害者支援の体制について	委員等 32名
R 6	6. 8. 30	・令和5(2023)年度栃木県発達障害者支援センター事業実績について ・令和6(2024)年度栃木県発達障害者支援センター事業計画について ・効果的な普及活動について(報告) ・意見交換「地域の中の当事者活動支援について」 ①発達障害者支援センターにおける当事者活動支援の状況 ②関係機関・団体からの情報及び意見	委員等 27名
R 7	7. 8. 28	・発達障害者支援センター「ふぉーゆう」令和6年度事業実績について ・発達障害者支援センター「ふぉーゆう」令和7年度事業計画について ・意見交換「地域の中での家族支援について」 ①発達障害ピアサポーター事業について(報告) ②関係機関・団体からの情報及び意見	委員等 28名

イ 関係機関との連携会議等

保健、福祉、教育、労働関係機関等との連携を図るための会議に出席

年度	R 5	R 6	R 7
件数	23	24	28

ウ 関係団体への支援

関係団体(親の会等)との情報交換や、関係団体が主催する事業への参加・協力等により、関係団体を支援

(回数)

	R 5	R 6	R 7
関係団体との情報交換	7	11	5
関係団体主催事業への参加協力	3	2	7
関係団体主催事業への後援	1	1	1
視察研修の受入れ	1	2	0

エ 発達障害者地域支援マネージャー及び発達障害者相談支援サポーターとの連携

発達障害者地域支援マネージャー及び発達障害者相談支援サポーターとの連携による重層的な支援体制の構築のため、連絡会議や事業の支援を通して情報共有・課題検討等を実施

(回数)

	R 5	R 6	R 7
マネージャーとふぉーゆうによる市町・サポーターへの巡回支援	7	7	13
マネージャー、障害福祉課及びふぉーゆうとの連絡会議	12	10	8
マネージャー主催研修会・事例検討会等への参加協力	3	18	33

(4) 高次脳機能障害支援拠点機関関係

① 相談支援関係

相談件数

(延べ件数)

区分 年度	本人・家族（直接相談）					関係者（間接相談）					総計	ケース検討会議	
	電話	来所	メール・書簡	訪問・同行	小計	電話	来所	メール・書簡	訪問・同行	小計		回数	参加者
R 5	134	45	0	14	193	95	7	0	25	127	320	12	104
R 6	120	55	5	28	208	132	13	0	34	179	387	11	111
R 7	113	40	24	20	197	180	31	0	19	230	427	14	133

② 地域支援関係

ア 地域でのケース検討会議

地域における個別支援会議等（コンサルテーションを含む）

区分 年度	県北圏域		宇都宮・県西・県東圏域		県南・安足圏域		計	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
R 5	0	0	8	46	1	5	9	51
R 6	0	0	25	128	3	16	28	144
R 7	0	0	25	152	1	5	26	157

イ 支援ネットワークの構築

地域自立支援協議会、障害者相談支援専門員連絡会等への参加

区分 年度	県北圏域		宇都宮・県西・県東圏域		県南・安足圏域		県全域		計	
	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数	回数	参加者数
R 5	0	0	1	30	1	46	2	56	4	132
R 6	2	160	3	94	1	53	7	229	13	536
R 7	0	0	2	58	2	91	4	107	8	256

③ 啓発・研修関係

ア 高次脳機能障害セミナー

一般県民に高次脳機能障害についての知識と理解を広げることを目的とした講演会

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 5	5.11.2 ～ 5.11.17	「高次脳機能障害の基本的理解とリハビリテーション」	慈恵会医科大学附属第三病院 リハビリテーション科 診療部長 渡邊 修 氏	栃木県障害者総合 相談所チャンネル (YouTube)による 限定動画配信	申込み 256名 視 聴 340回
R 6	7.1.27 ～ 7.2.28	テーマ「他人事ではない高次脳機能障害 ～皆さんに知ってほしいこと～」 (1)「高次脳機能障害とは～症状と生活への影響～」 (2)「高次脳機能障害への対応とリハビリテーションの実際」 (3)「高次脳機能障害の方が使える制度と支援の一例」 (4)「高次脳機能障害と言われて～家族の思い～」	(1)～(3) 栃木県立リハビリテーション センター リハビリテーション部 副部長 土屋 綾子 氏 作業療法士 篠崎 巧 氏 (4) 高次脳機能障害ピアサポーター	栃木県障害者総合相 談所チャンネル (YouTube)による 公開動画配信	視 聴 延べ 1,984回
R 7	8.2.2 ～ 8.3.2	テーマ 「見えない障害を理解する～高次脳機能障害の正しい理 解と支援のヒント～」 【講演】 (1)「高次脳機能障害とは」 (2)「日常生活への影響と対応の基本1（注意障害・記 憶障害・遂行機能障害）」 (3)「日常生活への影響と対応の基本2（社会的行動障 害）」 (4)「日常生活への影響と対応の基本3（失語症）」 (5)「高次脳機能障害のある人を支える地域連携」	国際医療福祉大学 保健医療学部 言語聴覚学科 講師 櫻岡 絵里香 氏	栃木県障害者総合相 談所チャンネル (YouTube)による 公開動画配信	視 聴 延べ 1,450回

イ 研修関係

(7) 相談支援研修（基礎編）

高次脳機能障害者支援のための基礎的知識や制度の習得のため相談支援従事者等を対象に開催

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 5	6. 1. 25	※にしないケアネットとの共同開催 第1部「高次脳機能障害について」	国際医療福祉大学作業療学科 教授 国際医療福祉大学クリニック 院長 前田 眞治 氏	国際医療福祉 大学病院 講堂	55名
		第2部 事例検討・グループワーク	コーディネーター 栃木障害者総合相談所職員		
R 6	6. 12. 17	※真岡中央クリニックとの共同開催 第1部「高次脳機能障害のある方の地域生活を支える」	栃木障害者総合相談所職員	真岡市青年女性会館 第1・2ホール	55名
		第2部 事例検討・グループワーク	(事例紹介)真岡中央クリニック 作業療法士 菊池 嘉之助 氏 (助言者)真岡中央クリニック 院長 小川 松夫 氏		
R 7	7. 9. 10	※足利赤十字病院との共同開催 ※基礎編と応用編を統合 第1部「高次脳機能障害の基本的理解と対応」	栃木障害者総合相談所職員	足利赤十字病院 講堂	81名
		第2部 支援事例の紹介、参加者との意見交換	足利赤十字病院職員		

(4) 相談支援研修（応用編）

高次脳機能障害の特性理解と対応方法及び関係機関との連携支援のため相談支援従事者等を対象に実施

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 5	6. 2. 9 ～ 6. 2. 29	「子どもの高次脳障害～基礎知識と支援の流れ～」	千葉県千葉リハビリテーションセンター (総論)地域支援センター 高次脳機能障害 部長 公認心理師・臨床心理士 長谷川 純子 氏	栃木県障害者総合 相談所チャンネル (YouTube)による 限定動画配信	申込み 161名 視 聴 204回
R 6	6. 2. 9 ～ 6. 2. 30	※家族教室【第2部】のオンデマンド配信 「家族が高次脳機能障害と言われたら～介護者なき 事態に備えて、今からできることを考える～」	(特非)ソーシャルネット南のかぜ 代表理事 社会福祉士事務所「スペース・輪」 所 長 大輪 典子 氏	栃木県障害者総合 相談所チャンネル (YouTube)による 限定動画配信	視 聴 10回
R 7	7. 9. 10	※足利赤十字病院との共同開催 ※基礎編と応用編を統合 第1部「高次脳機能障害の基本的理解と対応」	栃木障害者総合相談所職員	足利赤十字病院 講堂	81名
		第2部 支援事例の紹介、参加者との意見交換	足利赤十字病院職員		

(7) 医療従事者等研修

医療従事者等の資質及び技術の向上による専門的支援の充実を図るため開催

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 5	5. 8. 18 ～ 5. 8. 28	「高次脳機能障害の診断書作成のための留意事項と 能力障害・生活障害のとらえ方～医師の役割とコメ ディカル役割～」	埼玉県高次脳機能障害者支援センター センター長 先崎 章 氏	栃木県障害者総合 相談所チャンネル (YouTube)による 限定動画配信	申込み 87名 視 聴 87回
R 6	6. 8. 19 ～ 6. 9. 20	「強みを活かし希望を育む、高次脳機能障害の生活 期のリハビリ実践～なやクリニック(堺市)における 取り組みから～」	なやクリニック 作業療法士 江尻 知穂 氏	栃木県障害者総合 相談所チャンネル (YouTube)による 限定動画配信	申込み 121名 視 聴 473回
R 7	7. 8. 8 ～ 7. 9. 8	「高次脳機能障害者の「働きたい！」を応援する～ 働くための準備と、就労支援機関の役割と取り組み を学ぶ～」	独)高齢・障害・求職者雇用支援機構 栃 木支部 栃木障害者職業センター 主任障害者職業カウンセラー 近藤 正規 氏 障害者職業カウンセラー 浮田 あやの 氏	栃木県障害者総合 相談所チャンネル (YouTube)による 限定動画配信	申込み 97名 視 聴 384回

(エ) 家族教室

高次脳機能障害の理解と家族の対応等について理解を深め、家族同士の交流を図る

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 5	5. 9. 26	「家族介護者のこころとからだを守る～ストレスと上手につきあう方法～」	保健師、精神保健福祉士 塩澤 百合子 氏	とちぎ健康の森 小会議室	10名
R 6	6. 11. 21	第1部「高次脳機能障害とは？」	栃木障害者総合相談所職員	栃木県立リハビリ テーションセンター 大会議室	10名
		第2部「家族が高次脳機能障害と言われたら ～介護者なき事態に備えて、今から できることを考える～」	(特非) ソーシャルネット南のかぜ 代表理事 社会福祉士事務所「スペース・輪」 所長 大輪 典子 氏		
R 7	7. 9. 19	(第1回) ①「高次脳機能障害の基本的な理解と対応」 ②「高次脳機能障害当事者本人の想い」 ※高次脳機能障害ピアサポーター養成講座(第1回) と合同開催	①栃木県立リハビリテーションセンター リハビリテーション部副部長 作業療法士 土屋 綾子 氏 ②いちごの里めぶきファーム ピアサポーター・職業支援員 唐沢 淳子 氏	とちぎ福祉プラザ 402会議室	11名
	7. 10. 6	(第2回) 「家族が高次脳機能障害と言われたら～活用可能な 制度や社会資源について～」 ※高次脳機能障害ピアサポーター養成講座(第2回) と合同開催	相談支援センターきらり 相談支援専門員 菱沼 勲 氏	障害者総合相談所 打合室	9名
	7. 12. 3	(第3回) 家族交流会	栃木障害者総合相談所職員 ピアサポーター	栃木県立リハビリ テーションセンター 大会議室	8名

(オ) 高次脳機能障害ピアサポーター事業

a ピアサポーターの養成・育成

高次脳機能障害児者との生活経験を活かし、高次脳機能障害児者（疑いを含む）と生活する家族を対象とした相談や情報提供を行うピアサポーターを養成・育成する研修を実施

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 5		実施なし			
R 6	6. 9. 3	養成講座（第1回） ①講演「栃木県の施策説明」 ②講演「聴くということ」 ③講演「高次脳機能障害の生活支援 ～駒生園での取組～」	①障害福祉課職員 ②(特非) 栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏 ③栃木県立リハビリテーションセンター 駒生園 作業療法士 加藤 由里 氏	①② 栃木県立リハビリテ ーションセンター 大会議室 ③ とちぎ健康の森 小会議室	5名
	6. 10. 30	養成講座（第2回） 講話「高次脳機能症障害とピアサポート ～ピアサポーターのこころとそのケア～」	栃内第二病院リハビリテーション部 副部長 山館 圭子 氏	とちぎ福祉プラザ 第1研修室	5名
	6. 11. 21 (動画配信) 6. 11. 25 ～ 6. 12. 2	養成講座（第3回） 講話「家族が高次脳機能障害と言われたら ～介護者なき事態に備えて、今からできる ことを考える～」 ※高次脳機能障害家族教室と合同開催	(特非) ソーシャルネット南のかぜ 代表理事 社会福祉士事務所「スペース・輪」 所長 大輪 典子 氏	栃木県立リハビリテ ーションセンター 大会議室 栃木県障害者総合相談 所チャンネル (YouTube)でのeラーニ ング	5名
	7. 3. 17	フォローアップ研修 講話・演習「グループカウンセリングについて」	(特非) 栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏	栃木県立リハビリテ ーションセンター 大会議室	3名

年度	開催日	演 題	講 師	場 所	参加者数
R 7	7. 9. 19	養成講座（第1回） ①講演「栃木県の施策説明」オリエンテーション ②講話「高次脳機能障害の基本的な理解と対応」 ③講話「高次脳機能障害当事者本人の想い」 ※②、③は家族教室（第1回）と合同開催	①障害者総合相談所職員 ②栃木県立リハビリテーションセンター リハビリテーション部副部長 作業療法士 土屋 綾子 氏 ③いちごの里めぶきファーム ピアサポーター・職業支援員 唐沢 淳子 氏	とちぎ福祉プラザ 402会議室	3名
	7. 10. 6	養成講座（第2回） ①講演「聴くということ」 ②講話「家族が高次脳機能障害と言われたら ～活用可能な制度や社会資源について～」 ※②は家族教室（第2回）と合同開催	①（特非）栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏 ②相談支援センターきらり 相談支援専門員 菱沼 勲 氏	① 栃木県立リハビリテーションセンター 大会議室 ② 障害者総合相談所 打合室	5名
	7. 10. 22	養成講座（第3回） 講話「高次脳機能症障害とピアサポート ～ピアサポーターのこころとそのケア～」	栃内第二病院リハビリテーション部 副部長 山館 圭子 氏	とちぎ福祉プラザ 301会議室	5名
	8. 3. 3	フォローアップ研修 講話・演習「グループカウンセリングについて」	（特非） 栃木県カウンセリング協会 理事長 大橋 房子 氏	栃木県立リハビリテーションセンター 大会議室	2名

ｂ ピアサポーターの派遣

高次脳機能障害児者の家族等を対象としたグループ相談及び支援者等への普及啓発を実施

年度	開催日	派 遣 先	内 容 等
R 5		実施なし	
R 6	6. 12. 10 6. 12. 26	・高根沢町社会福祉協議会主催公開講座 ・当所主催高次脳機能障害セミナー（動画収録）	一般県民や支援者へ高次脳機能障害者家族としての経験談の紹介 （参加者等）46名 視聴回数延べ632回 （派遣者）延べ4名
R 7	7. 4. 13 7. 5. 13 7. 6. 2 7. 8. 10 7. 8. 20 7. 10. 15 7. 11. 22 7. 12. 3 7. 12. 14 8. 2. 25 8. 2. 28	事案によって設定	一般県民や支援者へ高次脳機能障害者家族としての経験談の紹介 （参加者等）延べ307名 （派遣者）延べ14名

ウ 講師派遣（「とちぎ県政出前講座」、「高次脳機能障害支援養成研修」を含む）

関係機関等からの要請に応じて職員を派遣し、高次脳機能障害の特性等を学ぶことで要支援者への理解の促進を図る

年度	開催日	演題	派遣先	参加者数
R 5		該当なし		
R 6	6. 9. 28	「2024年度高次脳機能障害講演会」 ※意見交換会の助言者として	とちぎ高次脳機能障害友の会	39名
	6.12. 5 6.12.10	とちぎ県政出前講座 「高次脳機能障害支援の理解と栃木県の取組について」	事案によって設定	延べ 83名
	7. 1. 29	高次脳機能障害支援養成研修 「地域の支援体制について」	栃木県保健福祉部障害福祉課	50名
R 7	7. 5. 13 7. 6. 9 7. 8. 20 7. 8. 29 7.10.15 7.12.16 8. 2. 25	とちぎ県政出前講座 「高次脳機能障害支援の理解と栃木県の取組について」	事案によって設定	延べ 246名
	7.11.18	高次脳機能障害支援養成研修 「地域の支援体制について」	栃木県保健福祉部障害福祉課	53名

エ 普及啓発関係

年度	内 容
R 5	・各種リーフレット及び啓発用ポケットティッシュの配布（延べ38ヶ所 1,215部） 「高次脳機能障害の理解のために」、「高次脳機能障害を持つ方やその御家族の方へ」、「知ってほしい制度と社会資源」、「もしかしたら高次脳機能障害かもしれません」 ・小児用リーフレットの増刷（5,000部） ・「栃木県誕生150周年記念県民の日イベント」への出展
R 6	・各種リーフレット、ポスター及び啓発用ポケットティッシュの配布（26ヶ所 延べ3,954部） 「高次脳機能障害の理解のために」、「高次脳機能障害を持つ方やその御家族の方へ」、「知ってほしい制度と社会資源」、「もしかしたら高次脳機能障害かもしれません」、ポスター「もしかして高次脳機能障害ではありませんか？」 ・普及啓発カードの作成 400部
R 7	・各種リーフレット、ポスター及び啓発用ポケットティッシュの配布（41ヶ所 延べ2,444部） 「高次脳機能障害の理解のために」、「高次脳機能障害を持つ方やその御家族の方へ」「知ってほしい制度と社会資源」「もしかしたら高次脳機能障害かもしれません」「啓発用ポケットティッシュ」「普及啓発カード」 ・高次脳機能障害を持つ方やそのご家族の方へ1,000部増刷 ・知ってほしい制度と社会資源 1,000部増刷

④ 連携構築関係

年度	区 分	開催日	内 容	場 所
R 5	高次脳機能障害支援 連携協議会	6. 1. 19	・ 本県における高次脳機能障害者に対する効果的な支援についての検討 （出席者）栃木県高次脳機能障害連携協議会委員等 23名	Zoomによる オンライン開催
	高次脳機能障害支援 拠点機関コーディネーター 打合せ会議	5. 7. 5	・ 高次脳機能障害支援拠点機関における支援体制の充実を図るため、必要な支援内 容及び各圏域における役割・連携についての検討 （出席者）高次脳機能障害支援コーディネーター等 11名	Zoomによる オンライン開催
	家族会支援	5. 6. 10 5. 10. 21 5. 12. 9 6. 1. 13	・ とちぎ高次脳機能障害友の会定例会及び講演会等への参加 （参加者）延べ156名	とちぎボランティア NPOセンター 「ぼ・ぼ・ら」等
R 6	高次脳機能障害支援 連携協議会	6. 11. 29	・ 本県における高次脳機能障害者に対する効果的な支援についての検討 （出席者）栃木県高次脳機能障害連携協議会委員等 23名	Zoomによる オンライン開催
	高次脳機能障害支援 拠点機関コーディネーター 打合せ会議	6. 7. 22	・ 高次脳機能障害支援拠点機関における支援体制の充実を図るため、必要な取組及 び事例の支援を通じての課題・連携等についての検討 （出席者）高次脳機能障害支援コーディネーター等 12名	Zoomによる オンライン開催
	家族会支援	6. 5. 11 6. 9. 28 6. 10. 12 6. 12. 14	・ とちぎ高次脳機能障害友の会定例会及び講演会等への参加 （参加者）延べ122名	とちぎボランティア NPOセンター 「ぼ・ぼ・ら」等
R 7	高次脳機能障害支援 連携協議会	7. 10. 31	・ 本県における高次脳機能障害者に対する効果的な支援についての検討 （出席者）栃木県高次脳機能障害連携協議会委員等 22名	Zoomによる オンライン開催
	高次脳機能障害支援 拠点機関コーディネーター 情報交換会	7. 7. 30	・ 高次脳機能障害支援拠点機関における支援体制の充実を図るため、必要な取組及 び事例の支援を通じての課題・連携等についての検討 （出席者）高次脳機能障害支援コーディネーター等 10名	Zoomによる オンライン開催
	家族会支援	7. 5. 24 7. 9. 24 7. 10. 4 7. 12. 13	・ とちぎ高次脳機能障害友の会総会及び講演会等への参加 （参加者）延べ85名	とちぎボランティア NPOセンター 「ぼ・ぼ・ら」等

(5) 障害福祉サービス従事者等の研修関係業務

① 障害支援区分認定調査員・審査会委員研修

区分	内容及び回数	参加者等
障害支援区分認定調査員・審査会委員研修	○日時 令和7(2025)年6月6日(金) ○実施方法 集合研修 ○内容・講師 「栃木県の障害福祉の動向・障害支援区分認定の流れ」 障害福祉課職員 「身体障害について」 障害者総合相談所職員 「知的障害について」 障害者総合相談所職員 「発達障害について」 障害者総合相談所職員 「難病について」 とちぎ難病相談支援センター職員 「精神障害について」 精神保健福祉センター職員 「障害支援区分 審査判定の基本」 「障害支援区分 認定調査のポイント」 厚労省作成動画視聴	市町職員・事業所職員等 74名(修了者数)

② 相談支援従事者研修

区分	内容及び回数	参加者等
現任研修 4日間×2回	○日時 1日目：令和7(2025)年7月8日(火) 2日目～4日目： 〈第1回〉令和7(2025)年7月23日(水)～25日(金) 〈第2回〉令和7(2025)年9月17日(水)～19日(金) ○実施方法 集合研修 ○内容・講師 障害者総合福祉法及び児童福祉法の現状 障害福祉課 相談支援の基本姿勢 (特非)風の詩 社会福祉士事務所「風のささやき」社会福祉士 永島 徹 氏 相談支援の基本姿勢及びケアマネジメントの展開に関する講義 相談支援事業所Well-being 渡邊 純一 氏 人材育成の手法に関する講義 相談支援センターきらり 菱沼 勲 氏 「演習オリエンテーション」 鹿沼市障がい児者基幹相談支援センター 高山 即子 氏 「数値や資源の分類から自分たちの地域を診てみよう」 自治医科大学 社会学・公衆衛生学 准教授 青山 泰子 氏	相談支援専門員 50名(修了者数)

区分	内容及び回数	参加者等
現任研修 4日間×2回	「『困ったな』を解決する実践力を高めよう①～③」 グループスーパービジョンの実践 社会福祉法人 窓の陽 相談支援事業所 ふるさとホーム那須 星 光代 氏 社会福祉法人 エルム福祉会 大田原市障害者相談支援センター 渡邊 雅紀 氏 「研修のまとめ」 社会福祉法人 希望の家 鹿沼市障がい児者基幹相談支援センター 高山 即子 氏	
主任研修 5日間	○日時 令和7年11月27日（月）、28日（金）、12月2日（火）～4日（木） ○実施方法 集合研修 ○内容・講師 「障害福祉の動向」 障害福祉課職員 「主任相談支援専門員の役割と視点」 （福）たかはら学園 矢板市障がい児者相談支援センター 中島 勝之 氏 「相談支援事業所における運営管理」 （福）同愛会 芳賀郡障害児者相談支援センター 石崎 智 氏 「人材育成の意義と必要性」 （医）朝日会 相談支援事業所おやま 毛呂 貴宏 氏 「人材育成の地域での展開」 （医）朝日会 相談支援事業所おやま 毛呂 貴宏 氏 （福）すぎなみき会 障害児者計画相談支援センターこうろく 大島 章嗣 氏 「研修・GWの運営方法（FT）」 （医）朝日会 相談支援事業所おやま 毛呂 貴宏 氏 （福）すぎなみき会 障害児者計画相談支援センターこうろく 大島 章嗣 氏 「SVの理論と実際」 （特非）とちぎ障害者労働自立センターゆめ 高根沢町障害児者基幹相談支援センター 菅間 直子 氏 「SVによる相談支援員専門支援」 （福）益子のぞみの里福祉会 相談支援センターみさと 志田 弘子 氏 （特非）とちぎ障害者労働自立センターゆめ 高根沢町障害児者生活支援センターすまいる 武田 映子 氏 「地域援助技術の考え方と展開技法」 （福）すぎなみき会 日光市障がい者基幹相談支援センター 中島 久男 氏 「地域援助技術の具体的展開」 （福）あゆみ園 相談支援事業所ぴあん 大橋 進 氏 （福）すぎなみき会 日光市障がい者基幹相談支援センター 中島 久男 氏 「多職種協働（チームアプローチ）の考え方と展開方法」 （株）佐藤商会 相談支援事業所スマイルサポート上三川 松本 裕生 氏 「基幹相談支援センターにおける地域連携」 （福）同愛会 芳賀郡障害児者相談支援センター 石崎 智 氏 「地域共生社会の実現」 （特非）みらい 相談支援事業所みらい 齋藤 大輝 氏	相談支援専門員 6名(修了者数)

区分	内容及び回数	参加者等
専門コース別研修	○日時 令和8(2026)年2月3日(火) ○実施方法 集合研修 ○内容・講師 「意思決定支援」 合同会社 OWL Tochigi 代表 松本 裕行 氏	相談支援専門員 16名(修了者数)

③ 強度行動障害支援者養成研修

区分	内容及び回数	参加者等
実践研修 3日間	○日時 ①令和7(2025)年11月19日(水)、20日(木) ②令和7(2025)年11月25日(火)、26日(水) ①、②共通 令和7(2025)年12月1日(月) ○実施方法 ①集合研修 ○内容・講師 「強度行動障害の施策等」 障害福祉課職員 「支援を組み立てるための基本」 (福) あいのかわ福祉会 佐々木 伸也 氏 「アセスメントの方法①」 (福) とちのみ会 石塚 大志 氏 「アセスメントの方法②」 (福) 太陽の里福祉会 八木澤 新治 氏 (福) こころみる会 草間 和斗 氏 「手順書の作成①」 (福) あいのかわ福祉会 早坂 芳範 氏 「手順書の作成②」 (福) 益子のぞみの里福祉会 相田 真也 氏 (福) 飛山の里福祉会 高橋 君年 氏 「記録の分析と支援手順書の修正」 (福) とちぎ健康福祉協会 浅見 武男 氏 「組織的なアプローチ」 障害福祉課職員 「実践報告」 (特非) 夢 副理事長 前田 淳裕 氏 「関係機関との連携」 川村学園女子大学 大学院名誉教授 渡邊 昭彦 氏	施設職員等 77名 (修了者数)

④ 医療的ケア児等支援者養成研修

区分	内容及び回数	参加者等
医療的ケア児等 支援者養成研修	○日時 令和7年7月30日(水)～31日(木) 動画配信 9月9日(火)～9月30日(火) ○実施方法 集合研修及び動画配信 ○内容・講師 「医療的ケア児とその家族に対する支援に関する法律 県内の医療的ケア児の状況及び福祉サービス 災害対策支援 地域におけるこどもの発達と支援 母子保健」 障害福祉課職員 「障害のある子どもの成長と発達の特徴 疾患の特徴 生理 日常生活における支援 救急時の対応」 社会福祉法人 邦友会 国際医療福祉リハビリテーションセンター センター長 なす療育園 施設長 下泉 秀夫 氏 「医療的ケア児等支援の特徴 支援に必要な概念」 栃木県医療的ケア児等支援センターくくるん センター長 認定特定非営利活動法人うりずん 理事長 ひばりクリニック 院長 高橋 昭彦 氏 「訪問看護の役割と仕組み 日常生活における支援」 医療法人社団洋精会 訪問看護ステーション星が丘 所長 黒崎 雅子 氏 「各ライフステージにおける相談支援に必要な視点 支援の基本的枠組み」 障がい者生活支援センターひかり 手塚 希 氏 「ライフステージにおける医療的ケア児（NICUから在宅移行）」 栃木県医療的ケア児等支援センターくくるん 副センター長 益子 郁子 氏 「ライフステージにおける医療的ケア児（児童期：保育）」 社会福祉法人 ともに あいせんの森保育園 理事長 今井 美静 氏 「ライフステージにおける医療的ケア児（学童期）」 栃木県教育委員会 特別支援教育課職員 「ライフステージにおける医療的ケア児（成人期）」 国際医療福祉リハビリテーションセンター相談支援事業所 相談支援専門員 三森 由美子 氏 「本人・家族の思い」 当事者及び御家族 「小児在宅医療における多職種連携 連携・協働の必要性」 栃木県医療的ケア児等支援センターくくるん 副センター長 益子 郁子 氏	障害児通所支援 事業所職員・相 談支援専門員等 91名(修了者数)

⑤ 障害者相談支援関係業務

ア 圏域別連絡会

各圏域の障害者相談支援協働コーディネーターや相談支援専門員が主体となり開催している事例検討を中心とした連絡会に参加し、専門的な助言を行い地域が抱える課題の共有、課題解決のプロセスへの支援を行った。

圏域	回数 (回)	障害者総合相談 所職員の参加	参加延人数	内 容
宇都宮	0	延べ 0 人	0 人	【全圏域共通点】 コーディネーターを中心に相談支援専門員の情報交換や事例検討・研修等を実施。専門的助言を目的に、市町・コーディネーター支援として参画した。 ① 連絡会：各相談支援専門員の活動についての情報交換・今後の活動について話し合い等 ② 研修会：外部講師等での研修等 ③ 事例検討会：資質向上のための事例検討
県西	2	延べ 3 人	75 人	
県東	6	延べ 1 人	156 人	
県北	那須地区	0	延べ 0 人	
	塩谷地区	0	延べ 0 人	
県南	0	延べ 0 人	0 人	
両毛	2	延べ 3 人	78 人	

イ 地域支援（事例検討会等への支援）

各地域で活動している障害者相談支援センターや施設職員等への事業支援として、処遇相談や事例検討会を実施した。

(単位：件・人)

区 分		事例 実件数	事例 延べ件数	障害種別					障害者総合相談所 出席者						備考
				身体 障害	知的 障害	精神 障害	児 童	そ 他	ワ ー カ ー 等	心 理 士	理 学 療 法 士	作 業 療 法 士	言 語 療 法 士	保 健 師	
R 5 年度	事例検討	0	0												
	処遇相談	3	4		4					6					
R 6 年度	事例検討	0	0												
	処遇相談	9	9		9					16	1				
R 7 年度	事例検討	0	0												
	処遇相談	5	5		5					8	0				

(6) 地域支援業務

① 研修会等の開催状況

ア 市町職員等研修会

(ア) 【市町等障害者福祉業務担当者研修会】

日 時	内 容	備 考
R5. 4	当所業務について担当者より説明	新型コロナウイルス感染拡大防止のため書面開催
R6. 4	当所業務について担当者より説明	オンライン開催
R7. 4	当所業務について担当者より説明	オンライン開催

(イ) 【補装具費支給事務に係る市町職員研修会】

日 時	内 容	備 考
R5. 4	補装具費支給事業事務処理の手引き及び関連資料の送付	書面開催
R6. 7	補装具費支給事業事務処理の手引き及び関連資料の送付	オンライン開催
R7. 5	補装具費支給事業事務処理の手引き及び関連資料の送付	オンライン開催

イ 講師派遣

内 容	回 数	参加者延人数(人)	派遣講師職種						備考
			理学療法士	作業療法士	言語聴覚士	心理	保健師	行政	
高齢者の日常生活援助技術（衛生福祉大学校看護学科講師）	2	60	2						
わかくさ特別支援学校夏期研修会 「身体障害児に係る制度と補装具について」	1	35	1						
パラスポーツ指導員（初級）養成講習会	1	17				1			
乳幼児二次健診	2	3			2				
計	6	115	3	0	2	1	0	0	

第 3 沿 革

昭和 27 年 11 月	身体障害者福祉法第 11 条に基づき身体障害者更生相談所設置 ①
昭和 35 年 11 月	児童福祉法に基づく肢体不自由児施設として若草学園設置 入所定員 100 名 ②
昭和 36 年 5 月	身体障害者福祉法に基づく肢体不自由者更生施設として身体障害者 更生指導所を設置 入所定員 40 名 ③
昭和 37 年 4 月	身体障害者更生指導所 入所定員 40 名→48 名に変更
昭和 39 年 9 月	若草学園 通園施設を設置 定員 40 名
昭和 42 年 10 月	身体障害者更生指導所 通所施設を設置 定員 7 名
昭和 43 年 6 月	若草学園 母子入園施設を設置 定員 10 名
昭和 48 年 4 月	身体障害者更生指導所 改築のため入所定員 48 名→34 名に変更
昭和 48 年 4 月	肢体不自由児及び身体障害者の福祉の向上のため、児童から成人に至 るまでの一貫したリハビリテーションセンターとして、医療をはじめ教 育及び訓練（機能、作業、言語、職能等）並びに生活指導を行うことに より、社会復帰の促進を図ることを目的に①・②・③を統合し、1 局 2 部 10 課制により身体障害医療福祉センターが発足（肢体不自由児施設 入所 100 名、母子入所 15 名、通所 40 名、肢体不自由者更生施設 入所 50 名、通所 7 名、重度身体障害者更生援護施設 入所 60 名）
昭和 50 年 4 月	相談指導部生活指導課を育成課と更生課に分離
昭和 50 年 8 月 4 日	天皇・皇后両陛下御視察
昭和 51 年 4 月	肢体不自由者更生施設入所定員 50 名→30 名に変更 重度身体障害者更生援護施設入所定員 60 名→80 名に変更
昭和 55 年 10 月 24 日	皇太子・同妃殿下御視察
昭和 59 年 10 月	福祉機器展示相談中央センター開設
昭和 60 年 4 月	相談指導部判定課及び相談指導課を統合し更生相談課と改称
昭和 60 年 10 月	基準看護（特 2 類）承認
昭和 63 年 1 月	診療科目：整形外科、小児科と理学診療科の 3 科目に
昭和 63 年	「総合リハビリテーションシステム構想」策定
平成 3 年 9 月	「とちぎ健康と生きがいの森整備基本計画」 健康づくりセンター・生きがいづくりセンター・総合リハビリテーシ ョンセンター
平成 5 年 4 月	リハビリテーション総合承認施設として承認（（リ総）第 2 号） 理学診療科をリハビリテーション科に
平成 5 年 10 月	福祉機器部門を拡充し、介護研修・福祉機器センターを設置
平成 6 年 10 月	新看護（3：1．A．5：1）承認
平成 7 年 2 月	「総合リハビリテーションセンター整備に関する調査Ⅰ」
平成 8 年 3 月	「総合リハビリテーションセンター整備に関する調査Ⅱ」
平成 9 年 1 月	総合リハビリテーションセンター基本・実施設計委託
平成 9 年 4 月	介護研修センターを（財）栃木県高齢者総合センター内に新設 福祉用具展示相談センターを栃木県身体障害者福祉会館内に移設
平成 10 年 11 月	新看護（2：1．A）承認
平成 10 年 12 月	総合リハビリテーションセンター建築工事着工
平成 13 年 3 月	建物工事完了。正式名称を「とちぎリハビリテーションセンター」と 定める（設置条例制定）
平成 13 年 8 月 31 日	栃木県身体障害医療福祉センターを廃止

平成 13 年 9 月 1 日	身体障害医療福祉センターを引き継ぐとともに、リハビリテーション病院、心身障害児総合通園センターの機能を付加し、さらに知的障害者更生相談所を統合（吸収）して、宇都宮市駒生町にとちぎリハビリテーションセンターを開設 肢体不自由者更生施設（駒生園）の管理運営を（福）とちぎ健康福祉協会に委託
平成 14 年 8 月 29 日	皇太子殿下・同妃殿下御視察
平成 14 年 9 月 1 日	回復期リハビリテーション病棟の開設
平成 15 年 3 月 27 日	栃木県リハビリテーション支援センターの指定
平成 16 年 5 月 20 日	難病相談支援センター開設
平成 17 年 4 月 1 日	発達障害者支援センター開設準備のため発達障害支援課設置 小児慢性特定疾患相談支援を開始 身体障害者手帳交付事務開始
平成 17 年 7 月 2 日	発達障害者支援センター（ふぉーゆう）開設
平成 18 年 4 月 2 日	肢体不自由者更生施設（駒生園）の管理運営を県直営化
平成 21 年 3 月 2 日	こども療育センターで人工呼吸器装着児の短期入所を開始
平成 21 年 3 月 21 日	とちぎリハビリテーションセンター病院部門改革プラン策定
平成 21 年 4 月 1 日	難病相談支援センターが県庁本庁舎へ移転 肢体不自由者更生施設（駒生園）を障害者自立支援法に基づく、指定障害者支援施設に移行 日中活動系事業：自立訓練（機能訓練）定員 35 名 住居系事業：施設入所支援 定員 30 名 短期入所 定員 4 名
平成 22 年 4 月 1 日	肢体不自由児通園施設 定員 40 名→30 名に変更 知的障害児通園施設 定員 30 名→40 名に変更 肢体不自由児施設 定員 40 名→30 名に変更 高次脳機能障害支援拠点機関設置
平成 23 年 10 月 1 日	指定障害者支援施設（駒生園） 日中活動系事業：自立訓練（機能訓練）定員 35 名→30 名に変更 自立訓練（生活訓練）定員 10 名
平成 24 年 4 月 1 日	児童福祉法の一部改正により、肢体不自由児施設が医療型障害児入所施設に、また、肢体不自由児通園施設が医療型児童発達支援センターに、知的障害児通園施設が福祉型児童発達支援センターに移行
平成 30 年 3 月 5 日	電子カルテの運用開始
平成 30 年 3 月 31 日	とちぎリハビリテーションセンター閉所
平成 30 年 4 月 1 日	地方独立行政法人栃木県立リハビリテーションセンター設立により、栃木県立リハビリテーションセンターが従前の病院・施設部門を担い、同センター相談支援部門が新たに設置された県の出先機関「栃木県障害者総合相談所」として同所で開所
令和 5 年 4 月 1 日	業務企画課・相談支援課を身体障害支援課・知的障害支援課に改編

栃木県障害者総合相談所

〒320-0065 宇都宮市駒生町 3337-1

◇<https://www.pref.tochigi.lg.jp/e65/index.html>◇

～～お問い合わせ先～～

○身体障害支援課 TEL 028-623-7010

○知的障害支援課 TEL 028-611-1208

○発達・高次脳機能障害支援課

発達障害に関すること。TEL 028-623-6111

高次脳機能障害に関すること。TEL 028-623-6114

○ファックス番号：028-623-7255